

R7 WG活動報告会

R7年度の取組と 今後の展開

2026年2月24日
BPR推進WG

様々な経歴を持ち業務改善意識が強いメンバーが集結



鈴木 晃司 (防災危機管理課)

WG活動メンバー(R7~)

R6にPowerAppsで複数課に跨るアプリの構築に貢献



丸岡 隆典 (消防局通信指令課)

WG活動メンバー(R7~)

階層別研修にて消防局の現場視点を活かして職員をサポート
消防局内のDX推進に尽力



中里 倫崇 (政策推進課)

WG活動メンバー(R7~) / NTTドコモより出向

R6から民間の知見を活かして庁内でのBPR展開に貢献



糸井 みなみ (学務管理課)

WG活動メンバー(R5~)

R5から就学援助分野でRPAを複数運用し、業務効率化を実現
RPA稼働を継続・展開する活動にも貢献



増田 貴虎 (市民課)

WG活動メンバー(R5~)

R4にマイナカード交付業務をRPA化し、交付までの時間短縮に貢献



金澤 正輝 (学務管理課)

WG活動メンバー(R7~)

R6にAI-OCRとExcelを活用して支払業務の業務効率化を実現
R7のリーダー研修にてBPRの経験を横展開



石川 一郎 (市街地整備課)

WG活動メンバー(R5~)

R3から所属のDX推進員 アプリ開発や所属のクラウド環境整備に貢献
R7からは「技師業務BPRグループ」にも参加し、技師業務のBPRを検討



佐藤 萌恵 (情報政策課)

WG活動メンバー(R3~)

組成時から継続して当WGを担当 R4クラウド接続系端末を全庁導入
様々な所属のデジタル化ツールの導入をBPRの視点からサポート



平野 純 (選挙管理委員会事務局)

WG活動メンバー(R5~) / 情報政策課OB

R1・2に仮想化サーバの運用管理に従事
R6にPowerAutomateを用いて選挙事務を効率化



石関 美帆 (情報政策課)

WG活動メンバー(R3~) / WG担当者(R7~)

R2(WG組成前)から敬老祝金支給業務でBPRを行い、AI-OCRを導入
R3(WG組成時)から庁内でのBPR展開に貢献

庁内共通課題の解決に向けたリーダー人材の共創を通じて

自然循環でBPRが行われる仕組みをつくり

この仕組みを新たな文化・風土として根付かせる



すべての所属が自主的・自律的にBPRできる環境を実現する

01

情報発信・情報収集

DXチャンネル－あぜみち－

(R6リリース ▶ R7更新)

- マニュアルや事例を集約・周知
- 基礎的なマニュアルを整備



- ✓ BPRマニュアルやBPR整理シート等のコンテンツをプラス
- ✓ 分散したコンテンツを一か所に集約



02

端末・ツール活用

動画ライブラリ

(R6リリース ▶ R7強化)

- 活用スキルの個人差を解消
- 職種・職位による活用頻度を均一化



- ✓ 毎週水曜日にNEW動画をプラス
- ✓ 動画作成者を募集し、仲間が拡大



03

意識改革・人材育成

目的別職員研修

(R7年度から実施)

- BPRに対する管理職の理解を促進
- BPRを検討しやすい文化を醸成



- ✓ 新採 / 主任 / 副主幹 / 係長の階層別研修を実施
- ✓ BPR検討のきっかけを共有



04

ルール設定

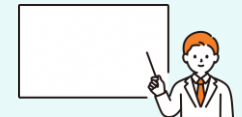
コミュニケーションポリシー

(R7年度 改定)

- 端末・ツール活用をルール化
- コミュニケーションの質を向上



- ✓ 全職員向けアンケートを実施
- ✓ 寄せられた意見を反映して改定し、令和8年1月に公開



DXチャンネル－あぜみち－（R6リリース▶R7更新）

DX推進の土台作りから成功まで 庁内の知恵と経験をつなぎ 切り開くためのプラットフォーム



DXチャンネル－あぜみち－

- ✓ パソコンQ&Aやマニュアル、BPR成功例など、知恵と経験を集約したプラットフォーム
- ✓ コンテンツを集約して情報収集を容易に
- ✓ 職員間のナレッジ共有・コミュニティ形成を図る

(R7年度の取組み)

- ✓ UIをリニューアル
- ✓ 掲載コンテンツを追加

サイトコンテンツ

- クラウド系基礎マニュアル
- ショートカット集
- 各種マニュアル（BPRマニュアル / PowerPlatformマニュアル / RPAマニュアル）
- 庁内BPR通信「みのり」
- 庁内Web広報「たがやす。」
- DXチャンネル ヘルプアプリ
 - パソコンQA・動画ライブラリ 一体型検索アプリ

動画ライブラリ (R6リリース▶R7強化)

仕事が“ラク”になるショート動画を配信する仕組みを構築

The screenshot displays the DX Channel website interface. The main content area is titled 'パソコンQA 動画ライブラリ' (PC QA Video Library). It includes a search bar, category filters (大分類, 小分類), and a list of video thumbnails. The thumbnails show various topics such as 'メッセージを保存する' (How to save messages), 'デスクトップの使い分け' (How to use the desktop), and '勤務時間を修正する' (How to correct working hours). A '動画ライブラリ' (Video Library) button is highlighted in the bottom left corner of the screenshot.

動画ライブラリ

- ✓ 端末やツールを使いこなす便利ワザを紹介
- ✓ マニュアルよりもぱっと見て伝わる実演形式
- ✓ 音声なし・字幕解説付き・短時間再生
- ✓ 毎週水曜日 投稿
- ✓ 視聴はQAと一体検索できる[ヘルプアプリ](#)

(R7年度の取組み)

- ✓ 基礎的な動画のほか、CopilotやPowerAutomateなどの中級者向けも続々追加
- ✓ 誰でも動画を作れるようにルール整備
- ✓ 作成者を募集し6名の有志メンバーが参加

動画ライブラリ (R6リリース▶R7強化)

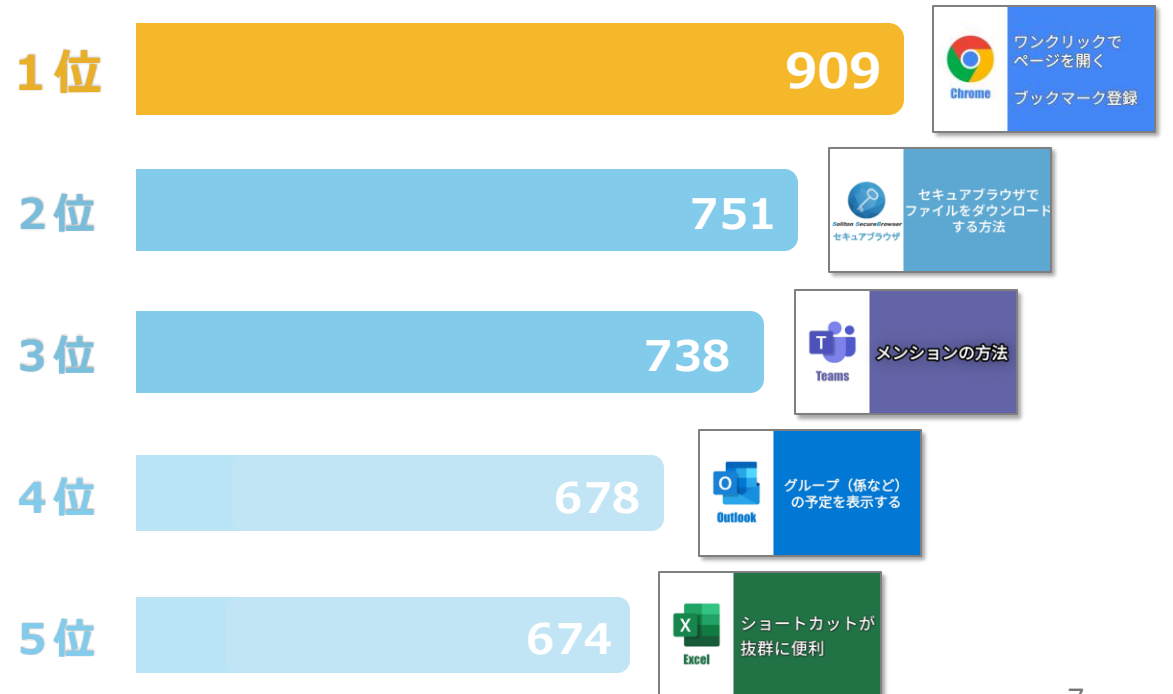
仕事が“ラク”になるショート動画を配信する仕組みを構築

R7年度に投稿した動画の例



運営状況 (R8.1月現在)

- 動画数 計**93**本
- 再生回数 計**27,570**回
- 作成者 WGメンバー + 有志**6**名
- 再生数ランキング ↓



階層別研修 ～新採・主任研修～ (R7年度から実施)

BPRの取組みに対する意識を高め、組織が前向きに行動できる種を撒く

新採向けプログラム



- ✓ オープンなコミュニケーションやデータ共有の必要性を理解し、ツールが利用できるようになる
- ✓ 普段の業務の中で、業務改善へつながる視点を養う

主任向けプログラム

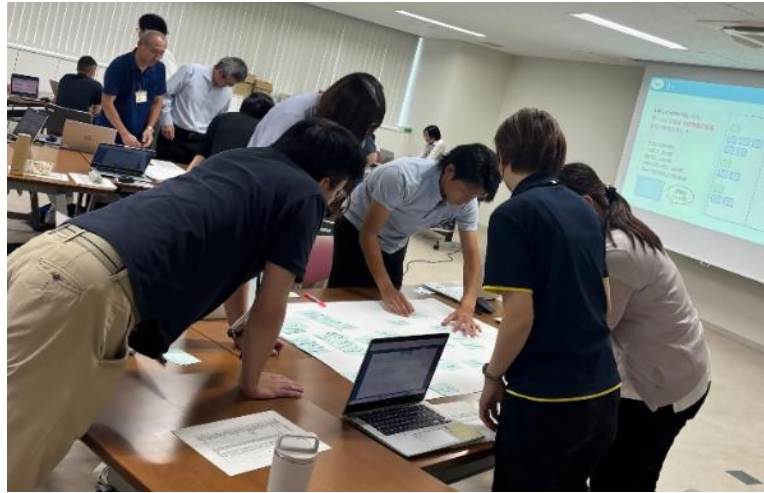


- ✓ 実際の取り組み事例を紹介し、業務改善のイメージを確立する
- ✓ 業務の理想像を明確にし、逆算して課題を洗い出す

階層別研修 ～副主幹・係長研修～ (R7年度から実施)

BPRの取組みに対する意識を高め、組織が前向きに行動できる種を撒く

副主幹向けプログラム



- ✓ 系の業務を題材に、実際にBPRを検討する
- ✓ 「係全体で進める」視点を持ち、チームづくりを意識する

係長向けプログラム



- ✓ 係所管業務の中で、BPRが必要な業務に気づき、発信できる
- ✓ 「係長がBPRに前向きでないと係員がBPRできない」ことを理解する

スキルアップ研修 (R7年度から実施)

BPR推進WG内の“RPAチーム”と“PowerPlatformチーム”により実施

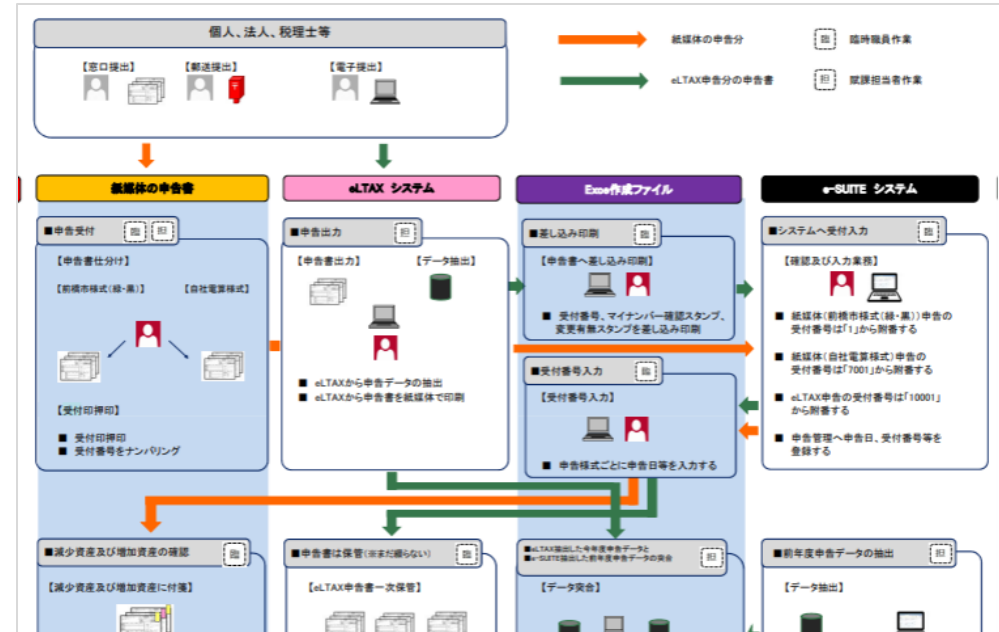
RPA研修 (RPA課題解決グループ)



- ✓ 業務改善手法の一つとしてRPA知識や技術の習得をWGがサポート
- ✓ RPAの導入実績を持つWGメンバーにて **引継ぎ資料モデル** を作成し共有
- ✓ 新任者を含む22名が参加し、引継ぎの方法と基本操作について講義

事務フローモデル

RPA操作マニュアル



メンバー



中島 大樹 (介護保険課)



松島 恵 (収納課)



糸井 みなみ (学務管理課)



増田 貴虎 (市民課)

スキルアップ研修 (R7年度から実施)

BPR推進WG内の“RPAチーム”と“PowerPlatformチーム”により実施

アプリ作成研修 (PowerPlatformチーム)



- ✓ 業務改善のためのアプリ作成を希望する所属を対象に開催
- ✓ アプリ作成の経験メンバーが講師となり、**BPRからアプリの作成まで** 3日間に分けて講義
- ✓ 研修後もサポートを継続し現在9課11係で作成中

アプリ作成研修資料

DB(データベース)イメージの作成

DBイメージ作成シート.xlsx (※ダウンロードして使用)

データの保存先を作るために、保存先の名前や表示形式を事前に書き出してみましょう。

ポイント

・意味を明確にする・スペースや記号は避ける・一貫性を保つ(接頭辞などの命名ルール)

・内部名(英数ローマ字)は英小文字で始める(数字始まり、スペース、記号はX)
・項目名は日本語、英数ローマ字、両方必要になります

データベース名
日本語と英数ローマ字

データベース名		日本語:		英数ローマ字:		
No.	項目名(表示名) 日本語	項目名(内部名) 英数ローマ字	説明	表示形式	必須項目	補足事項
1						
2				1行テキスト		
3				複数行テキスト		
4				数値		
5				日付		
6				日付と時刻		
7				選択肢		

表示名
分かりやすく
X項目1、項目2
○契約名、業者名

内部名
スペースや記号は避ける
XApplication Date
○ApplicationDate

表示形式
選択肢から選ぶ

必須項目
必須項目にする
場合はチェック

メンバー



小瀬 美香 (広報ブランド戦略課)



持木 達郎 (開発指導課)



渡根木 優子 (資産経営課)



岡安 有希 (東部建設事務所)



藤田 佳代 (長寿包括ケア課)



山本 久美子(長寿包括ケア課)

コミュニケーションポリシー改定 (R7年度改定)

職員同士のコミュニケーションのスタンスやツール活用法の共通認識を整理

前橋市コミュニケーションポリシー

- ✓ 働きやすい職場づくりのために心がけると良いことを職員アンケートを踏まえて全12項目記載
- ✓ **専用ポータルサイト** を開設、アプローチを容易に
- ✓ 令和8年度以降に浸透状況や満足度などの評価実施を検討中

適切な情報管理	オープンな情報共有
思いやりのある対話	活発な意見交換

職員の意見を互いに尊重し、チームで取り組みましょう

- ✓ **異なる意見を否定せず、誰もが発言しやすい環境を作りましょう**
自分の考えと異なる意見があっても、真っ向から否定するのではなく、まずは**相手の意見を理解しようとする姿勢**が大切です。そうすることで、お互いの共通理解が深まり、建設的な対話につながります。また、自分の発言が受け入れられていると感じることで、安心して積極的に発言しやすくなり、意見交換が活発になる効果も期待できます。
- ✓ **相手の意見に耳を傾け、受け入れる姿勢を大切にしましょう**
チーム全員が同じ方向を向いて業務に取り組むためには、一人ひとりの意見を丁寧に聞き、全員が納得した状態で進めることが重要です。会議や意見交換の場では、特定の人に発言が偏りすぎないよう配慮し、相手の話にしっかり耳を傾けることで、新たな視点に気づきかけにもなります。
- ✓ **チーム全員で支え合いながら、新しいことにチャレンジしていきましょう**
これまでに経験のないことや難しい課題に取り組むときは、不安を感じやすいものです。そんなとき、**チャレンジする人を手助けし、後押しする温かい職場の雰囲気**は、一人ひとりの行動意欲を高め、結果としてチーム全体の成果にもつながります。誰か一人に負担が偏っていないか、人任せになっていないか、周りに目を配りながら、チーム全体で支え合う姿勢を大切にしましょう。

職員の声

- ・自分の言ったことに対していつも否定的に返されると発言する気力がなくなってしまう
- ・会議で特定の人に発言が偏り、他の人は聞くだけになってしまっていることが多い
- ・誰がやってもいいはずの業務なのに、最終的にいつも同じ人が行って人任せの状態になっている

前橋市コミュニケーションポリシー

トップ システムリンク アプリリンク マニュアル・資料集 ポータルサイト

全庁ポータル

INFORMATION 情報政策課ポータル

前橋市コミュニケーションポリシー

前橋市役所をもっと働きやすく

多様な部署や勤務体系を持ち、人事異動や社会環境の変化に応じたツール更新により業務環境が変化する中で、生産性を高め、働きやすい環境を広げるためには、積極的な業務共有の姿勢、積極的な情報共有の姿勢、ツール活用について職員間で共通認識を持つことが必要です。

コミュニケーションポリシーは、組織内での情報共有や意思疎通に関する基本的な方針を定めることにより、職員間のコミュニケーションの質を向上し、業務の効率化を図ります。

本市では、下記の4つの行動指針を通じて、協力和な組織文化を育みます。

市役所の目指す姿 (4つの行動指針)

<ul style="list-style-type: none"> ✓ 誰もが正しく情報を保管し、適切に整理できる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 誰もが必要な情報をリアルタイムで確認できる ✓ 誰でも課題やリスクを発見できる状態になっている
<ul style="list-style-type: none"> ✓ お互いに感謝や労いの気持ちを伝え、相手の立場を尊重できる ✓ 過剰にやすく、協力し合える、あたたかい職場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 誰もが意見やアイデアを自由に発信できる ✓ 職位・部署の壁を越えてフラットに議論できる

前橋市コミュニケーションポリシーの実践

本ポリシーを読み取り、自身の職場と比較して、できることから取り組んでみましょう。より活発さと働ける職場環境に向けて、各自で活用してください。

クラウド接続系端末 (Chromebook、Surface) が個人に配布されていない場合でも、自身の所属の状況に応じた方法で実践してみましょう。

前橋市コミュニケーションポリシー (R7年度改定版) 掲載

なお、本ポリシーは令和7年度BPR推進WGメンバーにより作成されたものです。



01

情報発信

あぜみち・動画ライブラリ

(R8年度 強化)



- ✓ DX関連情報や動画を追加してプラットフォーム内のコンテンツを強化する
- ✓ 動画作成者の輪をさらに広げ、ノウハウを共有する

02

意識改革

コミュニケーションポリシー

(R8年度 周知・浸透)



- ✓ 改定版コミュニケーションポリシーの周知・浸透を図り、より身近なものとする
- ✓ 職員同士で共通認識を持ち、コミュニケーションの質の向上を目指す

03

人材育成

目的別職員研修

(R8年度 継続)



- ✓ 新採、主任、副主幹、係長の階層別研修を継続し、BPRに対する意識を高める
- ✓ 上司・部下それぞれの考え方や意見を相互理解できる仕組みを検討する

04

多角的視点

WGメンバー募集

(R8年度 拡充)



- ✓ 公募等によりメンバーを増強し、多角的な視点を取り入れてBPR推進活動に取り組む
- ✓ 庁内の課題解決を推進できるリーダー人材を増やし、共創に取り組む